



スクールレポート

SCHOOL REPORT 27
学校生活の一コマ
を紹介

今回は、子どもたちが自分で栽培した古代米を使ったオリジナル料理に挑戦した様子と、子どもたちの力を伸ばす朝の時間をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

若戸小学校「食育」

古代米を育てオリジナル料理に挑戦！

若戸小学校では、校区の方のご好意で田んぼをお借りして、もち米と古代米(黒米)を栽培しています。古代米の栽培は、5年生が担当しています。田植えをした後、子どもたちは、草取りやジャンボタニシの除去などを行い、稲が実るのを楽しみにしてきました。秋になり、かまで刈り取った古代米を、足踏み式脱穀機で脱穀し精米すると、いよいよ献立を考え、オリジナル料理に挑戦です。

家庭科の時間を使って、手始めに作ったのは『古代米(黒米)の巻き寿司』。スクールアシスタントの方に教えていただき、地鶏の卵や三つ葉、菜の花などを使い、郷土色を生かしたおいしい巻き寿司が完成しました。子どもたちからは、「甘くてモチモチしていておいしい」などの感想が聞かれました。

これからも古代米づくりを通して、食に関する意識を高めてほしいと願っています。

※スクールアシスタント…地域の専門的な知識や技能を持つ人



●秋の収穫を楽しみに田植えをする5年生



●オリジナル料理を見せる子どもたち

清田小学校「さくらタイム」

声を合わせ、力を伸ばす朝の時間



●発声の基礎練習「ぐにゃぐにゃ体操」



●声を響き渡らせ群読をする6年生

清田小学校では、昨年度から1時間目の授業が始まる前に10分間の「さくらタイム」を設けました。この時間を使って、学習の基礎の習熟や群読などに取り組んでいます。

例えば3年生では、2年生で習った九九をカードでもう一度確実に覚えます。また6年生では、山地・山脈名や都道府県名を覚えることもあります。全校で取り組んでいる群読の練習をする際には、みんなで発声の基礎練習を行う時間になっています。朝から大きな声を10分間出し、みんなで息を合わせ群読の練習をすることは、各クラスに活力を与え、学習意欲にも火を付けているようです。

古典落語「じゅげむ」に挑戦している学年もあり、覚えた詩や古典文学を発表し合う群読発表会を、年3回行っています。体育館中に響き渡る子どもたちの声は、さすががしさとともにいつまでも耳に残っています。

子どもたちは、「さくらタイム」で集中することにより、授業にも意欲的に取り組めるようになってきたようです。